

## 「地域づくり人育成講座」の垂直展開

## 中級編・上級編の開催について

	対象者	開催イメージ
※参考 初級	地域づくり又は地域の人材育成に携わる情熱あふれる人 ※ 修了後⇒各地域で地域づくり又は地域の人づくりの具体の実践を開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村アカデミー（2泊3日、平成25年3月11～13日）</li> <li>・全国市町村国際文化研修所（2泊3日、平成25年1月9～11日）</li> <li>・自治大学校（2日間、平成24年7月26～27日）</li> </ul>
中級	初級編を修了した者で、各地域での実践の課程で、自らでは解決できない課題を抱えた者 ※ 平成24年度から開催 ※ 修了後⇒課題を解決し、又はその糸口をつかみ、各地域で地域づくり人として活躍。	内容・日程・場所等については、次ページ。
上級	全国の地域づくり人育成にも携わろうとする者 ※ 修了後⇒初級編の講師など、全国の地域づくり人育成に携わる。	平成24年度においてカリキュラムを検討し、平成25年度より実施。

## ○地域づくり人育成講座（中級編）開催に向けてのスケジュール（案）

- 8月 第10回人材力活性化研究会において、開催内容の検討
- 10月 第11回人材力活性化研究会において講座カリキュラムの決定  
受講者募集
- 12月以降 講座開催

○中級編講座のカリキュラム骨子に係る論点

⇒ 特別講義に引き続き、ワークショップ形式主体のカリキュラムとするか。

・ワークショップの流れのイメージ

- ① 受講前に、受講生本人が現在の活動及び対面している課題についてあらかじめ整理を行い、準備をしておく。
- ② 特別講義において、課題解決への学びを得る。
- ③ グループディスカッションにおいて、各自準備した事例を発表して、メンバーにおいて検討する。
- ④ 講師によるアドバイスを踏まえて、より深い検討・考察を行う。
- ⑤ ①～④を踏まえて、自らの課題解決について成果を報告しあう。
- ⑥ (研修後) 各地域において実践を行う。  
※ 総務省による受講者に対してのフォローアップ調査も行う。

⇒ 参加人数については、ゼミ形式を想定し、少人数とするか。(20人程。) さらにそれをグループ分けするか。

⇒ 開催回数としては、今年度は1回または複数回実施するか。

⇒ 開催期間としては、1泊2日(初日午前中～から2日目午前)とするか、2泊3日とするか。

⇒ 開催場所は、全国市町村国際文化研修所とするか。他の場所を使用するか(その際、宿泊・食事の手配等)。

⇒ カリキュラム構成にあたっては、初任者講座を受講した者に対してフォローアップ調査を行う際に、中級講座に係る意向の聞き取りも行うか。